科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：バイク（自動二輪車）の魅力を科学する-理論と実習 ILAS Seminar :The Science of Motorcycle Experience-Theories and Practice			担当者所属 職名・氏名	工学研究科　教授　　大西　正光 工学研究科　准教授　川端　祐一郎		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	木5	教室	1共04			使用言語	日本語
キーワード	土木計画学および交通工学関連 / バイク / オートバイ / 自動二輪車 / 交通政策						

[授業の概要・目的]

我が国は世界有数のバイク（自動二輪車、オートバイ）大国であり、日本のメーカーが欧米でも大きな市場シェアを占めるとともに、国際的なレースの舞台でもHONDAやYAMAHAのバイクが圧倒的な強さを見せてきました。また、2020年代に入り再び「バイクブーム」が到来しており、若い世代のライダーも増加しつつあります。

ところが、交通工学や交通政策の分野では、バイクは「マイナーな乗り物」という扱いを受けています。クルマや鉄道や自転車に比べて、バイクを対象とする学術研究は遥かに少なく、バイクという交通手段の特性について学ぶ機会も多くはありません。

そこでこの授業では、バイクがどのような乗り物であるかについて基礎的な理解を得るために、講義、ディスカッション、乗車実習を組み合わせた総合的な学習を行います。

担当教員による講義では、ライダーの心理、バイクの安全性、環境への影響などに関する最新の科学的な知見を学びます。また、バイク乗りを描いた映画を題材にして、学生・教員間でディスカッションを行うことで、日本や欧米のバイク文化について理解を深めます。さらに、学外の専用コースで実際にバイクを運転する実習を行い、乗車体験に関する分析と考察を行います（専用コースのため運転免許は不要。乗車実習に参加しない履修者は別途課題を与える）。

[到達目標]

バイク（自動二輪車、オートバイ）という交通手段がどのような特徴を持っているかについて基礎的な理解を得るとともに、あるべき交通政策や安全技術を検討するために必要な思考力を養う。

[授業計画と内容]

1．バイクの科学（3回）

担当教員の講義により、バイクに関する科学的な知見を学びます。

・バイク乗りの心理的特徴（価値観、性格、メンタルヘルス）
・バイクの危険性と安全対策（バイク事故の特徴、安全技術のトレンド）
・バイクと環境問題（規制の動向、EV化のインパクト）

2．バイクの文化（5回）

バイク乗りを描いた映画を視聴した上で、ディスカッションを行い、バイク文化に対する理解を深めます。

・バイクはなぜ熱狂的に愛されるのか（参考映画：『Why We Ride』）
・バイクでの「旅」に憧れる人々（参考映画：『団塊ボーイズ』）
・モータースポーツの文化（参考映画：『FASTEST』）
・反体制文化の中のバイク（参考映画：『イージー・ライダー』）
・暴走族とバイカーギャング（参考映画：『ゴッド・スピード・ユー！BLACK EMPEROR』）

ILASセミナー：バイク（自動二輪車）の魅力を科学する-理論と実習(2)へ続く↓↓↓

３．バイク乗車実習とその分析（6回）
　学外の専用コース（ライダーパーク生駒）にて、2時間×3回のバイク乗車実習を行い、準備時間を含めて5回分の出席とみなします。学外実習のスケジュールは、履修者の他の授業との兼ね合いなどを考慮して、相談しながら調整します。
　乗車実習では、基本的な操作について専門のインストラクターによる指導を受けながら、簡単な走行練習を行います。バイクの車両やヘルメットなどの装備は、レンタルすることができます。運転免許証は必要ありませんが、自転車に乗ることができる学生に限ります。
　乗車後は、疲労ストレス計測器等を用いて、バイク乗車が身体や心に与える影響を分析します。また、乗車体験を通じて学んだことについて、後日プレゼンテーションとディスカッションを行います（1回）。

4．フィードバック（1回）
　乗車実習を通じての疑問点の解消や、講義に対する質問への回答など、必要に応じてフィードバックを行います。

※なお、自転車に乗れない等の理由で乗車実習に参加しないことも可能で、その場合の別途課題については授業内で指示します。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、レポート提出（50%）及び講義・ディスカッション・実習への参加状況（50%）に基づいて行う。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

現代日本におけるバイク文化のイメージがつかみやすくするため、YouTube等の動画サイトで、「バイク　初心者」「バイク　ツーリング」「バイク　教習」などのキーワードで検索し、人気のある動画コンテンツを視聴することを推奨します。
また、HONDAおよびYAMAHAが提供している、以下のようなバイク初心者向けの記事も有用です。

・バイクって何が楽しいの？ これから乗りたい人へ『バイクの魅力⑩のコト』をお伝えします！
https://hondago-bikerental.jp/bike-lab/34719.html
・教習所に行く前に！バイクを動かすには、何をどう操作すればいい？ 覚えておきたい7つの基本！
https://hondago-bikerental.jp/bike-lab/19194.html
・バイクってどうやって操作しているの？～両手両足の妙技～
https://www.yamaha-motor.co.jp/mc/yamaha-motor-life/2016/04/20160408-002.html
・「乗らずに学べるバイクレッスン」発進が苦手な方向け！ クラッチの構造と役割を知って操作のコツをつかもう！
https://www.yamaha-motor.co.jp/mc/yamaha-motor-life/2024/08/20240809-001.html

ILASセミナー ：バイク（自動二輪車）の魅力を科学する-理論と実習(3)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：バイク（自動二輪車）の魅力を科学する-理論と実習(3)

[その他（オフィスアワー等）]

質問・相談には随時応じますので、准教授の川端（kawabata.yuichiro.8x@kyoto-u.ac.jp）あてにメールでご連絡ください。
なお、乗車実習に際しては、スポーツ安全保険及び学生教育研究災害傷害保険に加入していただきます。授業内で手続きを説明します。

[主要授業科目（学部・学科名）]